

平成29年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT29025 動物から学ぶいのちと環境～人と家畜の共生を目指して～



開催日：平成29年9月30日(土)

実施機関：宮城教育大学

(実施場所) (理科学学生実験棟 理系第二実験室)

実施代表者：齊藤 千映美

(所属・職名) (教員キャリア研究機構・教授)

受講生：小学生 16名

関連URL：

【実施内容】

・プログラムの工夫

講義、野外観察、実験、実習、クイズ大会を1日の中に配置し、限られた学習機会を最大限に活用し、学習の成果を高めることができるよう工夫しました。野外観察を午前中とし、午後は講義とクイズ大会を通じて観察したことから考えを深める時間を持ちました。野外活動の安全を確保する観点から、子どもたちを4名ずつ班に分け、サポートする学生2名をそこに配置しました。このことにより、1日の活動を通じて学生と子どもたち、また子どもたち同士の交流が可能になりました。アレルギー等健康配慮事項については参加者の保護者から事前に情報を得て、動物とのふれあいや軽食の提供などを確実に安全にできるよう配慮しました。動物とのふれあいは、手洗い・靴底洗浄などを徹底して実施しました。ふれあい動物にはそれぞれ学生を配置し、動物の安全とストレス回避を心がけ、また参加者の事故や怪我の防止に努めました。多くの補助者(学生)が関わる事業でしたが、実施者・補助者が事前に打ち合わせとリハーサルを確実に実施することにより、スタッフ全員が共通理解のもとにプログラムを進行させることができました。

・当日のスケジュール

8:50-9:10	受付
9:10-9:20	開講式(あいさつ、アイスブレイク)
9:20-9:40	演習(動物の飼育について考えてみよう)
9:50-10:20	講義(ヤギについて・日本人とヤギ)
10:30-11:20	実習(ヤギの健康観察と行動観察)
11:30-12:00	実習(ヤギの採食観察)
12:00-12:30	実習(ストレスチェック)
12:30-13:20	昼食、科研費の説明
13:30-14:00	講義(人獣共通感染症)
14:10-14:50	演習(動物の飼育方法を考えよう)
15:00-15:30	班毎ふりかえり、発表会
15:30-15:50	全体ふりかえり、未来博士号の授与、アンケート記入後、解散

・実施の様子

導入では、はじめに「動物飼育エンリッチメント」について紹介し、動物の飼育環境を本来の生息環境に近づけることの重要性や動物のストレス測定法について学びました。

中盤では、実際にヤギ、ニワトリなどの動物や、施設の観察を行いました。飼育の方法などを観察や飼育に携わる学生たちとの交流から学び、動物のストレス測定にもチャレンジしました。また当日は、卵の観察、ヤギの乳搾り、畜産品の調理実習を行うとともに、一日を通じてワークブックを完成しました。



【事務局との協力体制】

- ・事務局は実施時期の調整、広報活動、参加者申し込みのとりまとめ、保険加入、予算執行にあたり教員に対して全面的に協力し、効率的で円滑な事業の実施が可能であった。
- ・地元情報誌「ままばれ 宮城版」に案内情報を掲載した。
- ・県内の小・中・高や各教育施設（美術館・博物館・図書館など）にチラシを配布した。
- ・学都「仙台・宮城」サイエンスコミュニティのHPに案内情報を掲載し、広報を行った。
- ・本学の専用HPを立ち上げ広報を行った。本学のツイッター・フェイスブックに記載した。

【広報活動】

- ・実施担当者と事務担当者が協力し、本学で実施するひらめき☆ときめきサイエンスの教室をまとめた共通ポスターを作成した。ポスターは、仙台市・宮城県教育委員会と連携して、中学校や高校へ配布した。
- ・大学のHPを介した事業(プログラム)の内容や募集についての広報活動(インターネットを利用した募集活動)を行った。サイエンスコミュニティのメーリングリストなどを使った広報をした。

【安全への配慮】

・参加者・主催者全員が傷害保険に加入した。

【実施分担者】

【実施協力者】 20 名

【事務担当者】 鶴岡 希望（研究・連携推進課）

 芝 千秋（研究・連携推進課）